

「学び」が
変わる!



八潮市小中一貫教育

はばたきプラン



平成20年3月
八潮市教育委員会

■八潮市が目指す小中一貫教育

9年間の連続性・系統性を生かす教育の推進

小中学校をつなぎ、義務教育9年間にわたる連続性・系統性を生かした学習指導、生徒指導等の実施により「学力の向上」と「豊かな心の育成」を目指します。



本市は、児童生徒一人ひとりに幅広い知識と教養、心豊かでたくましく生きる力を培うため、きめ細やかな教育を推進し、「次代を担う人づくり」を大きな目標とした教育活動を展開しています。しかしながら、小学校から中学校に進学する段階において、子どもたちの心理的な不安、中学校の授業における教科担任制や部活動における人間関係等、著しい環境の変化から不登校が増加するなど、課題が山積しています。

そこで、9年間の連続性・系統性を生かした学習指導、生徒指導等を行い、小中学校をつなぎ、子どもたちの不安や悩みを解消し、健やかな成長を図ることをねらいとして小中一貫教育を実施します。

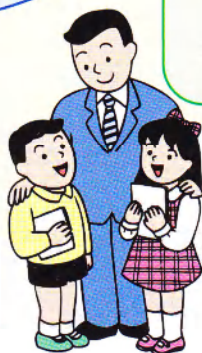
■八潮市学校教育の目標

明日の八潮を担う
人づくり環境の形成

学力の向上
(基礎基本の定着)
(自ら学ぶ力の育成)

豊かな心の育成
(異学年交流の充実)
(不登校問題の解消)

小中一貫教育の導入



小中一貫教育で目指す 児童生徒像

- ふるさと八潮を愛し、八潮市の次代を担う心豊かな児童生徒
- 基礎基本を身に付け、創造性に満ちた児童生徒
- 正義と責任を持って行動できる児童生徒
- 社会規範を守り、率先して社会のために奉仕できる児童生徒
- 心身ともにたくましい児童生徒



○ 新しい教育制度を導入します ○

- ① 現行の学習指導要領が示す、教科等・授業時数に拘らず、基礎基本の学習時間を増やしたり、新設科目を設置したりするなど、本市独自に子どもたちの実態にあった教育課程を実施します。
- ② これまでの小学校6年、中学校3年という枠を超え、小中一貫教育では、義務教育9年間をひとつのくくりとして子どもたちを育てていきます。
- ③ 小・中学校の教職員が一体となり、9年間を見通したきめ細やかな学習指導、生徒指導、教育相談等を実施します。

■ 八潮市小中一貫教育の特色

6.3制の見直し

9年間の学びを、現行の6・3制から4・3・2制（小1～小4「初等教育」、小5～中1「中等教育1」、中2～中3「中等教育2」）とします。



独自の教育課程に基づく、継続的な教育の推進

初等教育

小1・小2・小3・小4

学級担任制

中等教育1

小5・小6・中1

教科担任制

中等教育2

中2・中3

異年齢交流・教職員の相互交流

指導体制の充実

- ① 「学力の向上」に向け、一部教科担任制を小学校5、6年生から取り入れ、教師の専門性を生かした指導を行います。また、市採用の少人数指導補助教員を配置します。
- ② 英語活動を充実させるため、小学校専任の英語学習指導助手（ALT）を配置します。
- ③ 「豊かな心の育成」のため、市採用のさわやか相談員を配置し、一貫した生徒指導、教育相談体制ができるように工夫します。
- ④ 一人一人が興味・関心に応じた学習を進められるように、市独自の学生ボランティア補助教員や地域の人材を活用します。

新しい「学び」がはじまります。



八潮市小中一貫教育特区の特色

- ①教育特区による教育課程は、小学校3年生から実施し、総授業時数は現行時数と同じとします。また、小学校1、2年生は現行の学習指導要領による教育課程を実施します。
- ②「総合的な学習の時間」「選択教科」を削減し、「えらべる科」・「英語活動」・「ふるさと科」の設定、「特別活動」の時数増に充てます。
- ③「えらべる科」は、基礎基本の定着を図るため、習熟度に応じた国語、算数・数学や子どもたちの興味・関心を生かした新たな教科（例：食育科や情報科など）等の発展的な学習を選択して学びます。小3から中3まで、年35時間から165時間を設定します。
- ④「英語活動」は、コミュニケーション能力の育成や望ましい人間関係づくりを目的として、小学校3年生から年35時間を設定し、実施します。
- ⑤「ふるさと科」は、「総合的な学習の時間」の名称を変更し、小3から中3まで年30時間を設定します。“ふるさと八潮”の学習を人とのふれあいを通して、各学年の発達段階に応じて学習します。
- ⑥「特別活動」の授業時数を5～10時間増加し、交流活動などを通して、豊かな心の育成を図ります。



「構造改革特別区域（教育特区）計画」とは、学習指導要領の基準によらない、市独自の教育課程（教科や授業時間）を編成・実施できるものです。八潮市では、平成18年11月16日に内閣府から「八潮市小中一貫教育特区」が認定されました。

教育特区による八潮市の教育課程

◇現小学校1年生～6年生

		英 語	特別活動	えらべる科	ふるさと科(総合)
初 等 教 育	1年		34(変更なし)		
	2年		35(変更なし)		
"	3年	35(新設)	40(+5)	35(新設)	30(-75)
"	4年	35(")	40(+5)	35(")	30(-75)
中 等 教 育 1	5年	35(")	45(+10)	35(")	30(-80)
	6年	35(")	45(+10)	35(")	30(-80)



◇現中学校1年生～3年生

		外 国 語	特別活動	えらべる科	選 択	ふるさと科(総合)
中 等 教 育 1	7年	140(+35)	40(+5)	30(新設)	0(-30)	30(-40)
中 等 教 育 2	8年	140(+35)	40(+5)	85(")	0(-85)	30(-40)
"	9年	140(+35)	40(+5)	165(")	0(-165)	30(-40)

■これまでの歩み

- 平成17年度 19年度より、研究委嘱校を指定し、小中一貫教育の推進が決定
- 平成18年度 内閣府より、構造改革特別区域計画（八潮市小中一貫教育特区）認定
八潮市小中一貫教育推進準備委員会を設置、開催
- 平成19年度 小中一貫教育が導入され、2つの中学校区を研究委嘱校として指定
小中一貫教育全国サミット 2007 in 京都参加（共同宣言・パネル展示）

●学校教育審議会

平成19年7月24日、第1回学校教育審議会開催（19年度は5回開催）

「八潮市小中一貫教育の在り方について」諮問、平成21年6月答申



●小中一貫教育推進準備委員会

◇平成18年度 学校生活部会・交流活動部会・教育課程部会の3つの部会を4回開催

◇平成19年度 **英語活動部会・えらべる科部会・ふるさと科部会**の3つの部会を8回開催
研究委嘱校連絡協議会（小学校3校・中学校2校）を4回開催

■研究委嘱校の取組

平成19年度は、教育特区による教育課程を段階的に導入し、市内5校に小中一貫教育の研究を委嘱しました。交流活動や英語活動・えらべる科・ふるさと科の一部実施など、様々な取り組みが行われました。

●潮止小学校、松之木小学校、八潮中学校（委嘱連携校）

- ・吹奏楽部、器楽クラブの交流
- ・陸上競技の合同練習
- ・えらべる科の実施
- ・学習発表会の交流
- ・児童生徒作品の交流
- ・小中一貫教育3校合同研修会
（潮止小、松之木小、八潮中）

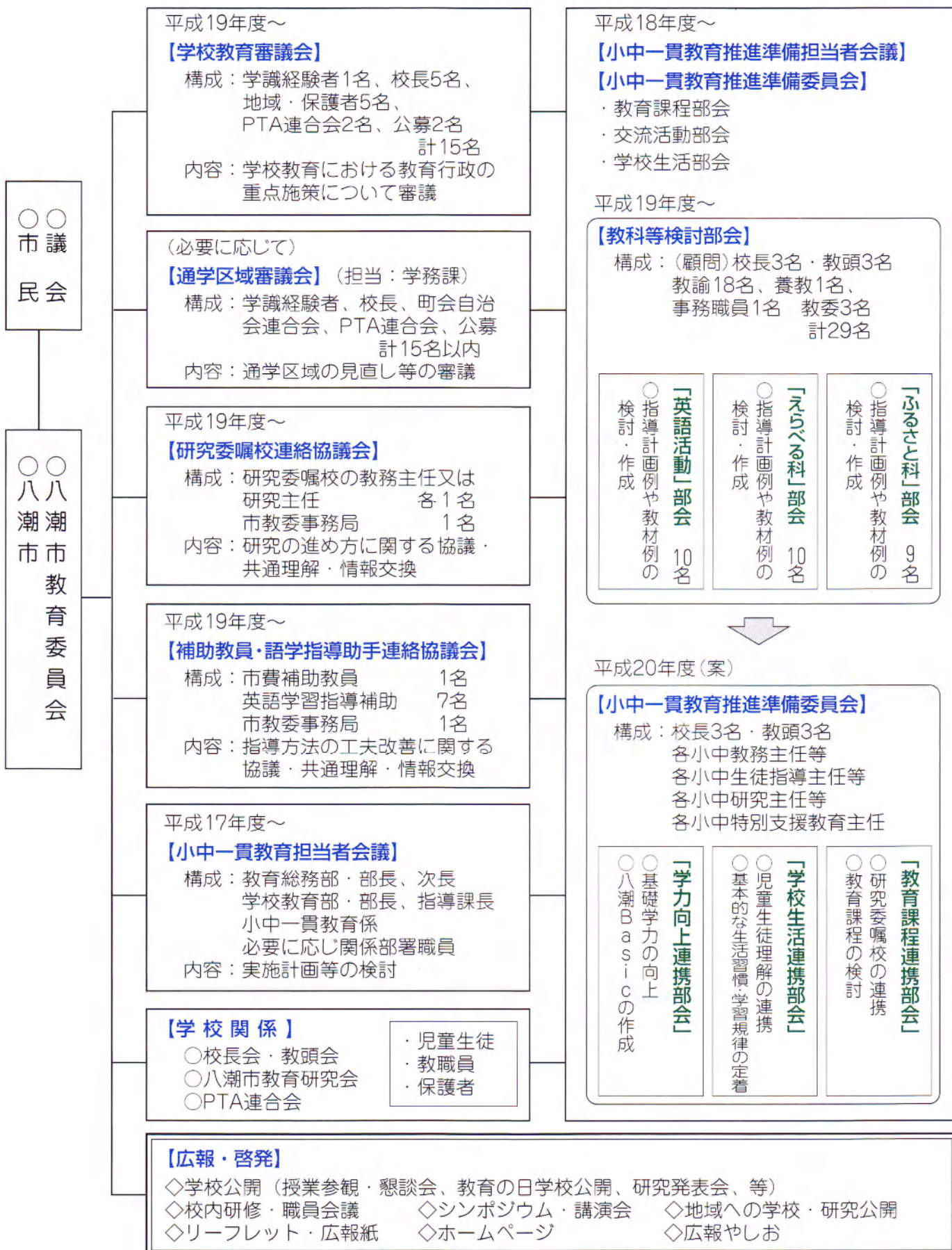


●八條北小学校、八條中学校（委嘱連携校）

- ・相互授業参観
- ・英語活動の実施
- ・児童会、生徒会の交流
- ・運動会、体育祭の交流
- ・音楽会、合唱祭の交流
- ・中学校教員による小学校での英語出前授業
- ・小中一貫教育3校合同研修会
（八條小、八條北小、八條中）



■八潮市小中一貫教育推進体制



これらの取組については、八潮市のHP (<http://www.city.yashio.lg.jp/>) で公開しています。
 【問い合わせ】八潮市教育委員会学校教育部指導課小中一貫教育係 ☎996-2111(内線)358